

城乾コミュニティ 市長と語る会

日 時：令和 7 年 10 月 29 日（水） 午後 7 時～午後 8 時 40 分

場 所：城乾コミュニティセンター

参加者：23 名

担当者：市長、地域担当職員【長楽（地域づくり課）、伊東（文化財保存活用課）】、鳥井（秘書課）

1. あいさつ

（所長）

みなとふれあいのまち城乾 コミュニティ会長の林よりご挨拶申し上げます。

（会長）

皆さん本日はご参集いただきありがとうございます。市長も公務で大変忙しい中、時間を割いていただきありがとうございます。せっかくの機会ですので忌憚のない意見をいただきながら建設的な意見交換を期待している。よろしくお願ひしたい。

（所長）

続いて、市長さんお願いします。

（市長）

城乾コミュニティの皆さんには市政運営に日頃からご理解賜り、林会長をはじめとして市政にご尽力をいただき心から感謝申し上げます。

最初のあいさつに、市政報告を 10 分ほどさせていただきたい。

今年の 4 月に市長選があり、おかげさまで 2 期目、5 年目となり市長としてしっかりと元気なまちづくりに取り組むことができている。あと 3 年半の任期で一生懸命取り組むので、今後ともよろしくお願ひしたい。

今年うれしく感じたことを市政報告として話したい。

日本は人口減少時代に突入し、地方でも特に四国は人口が減っている。高齢化社会、少子化がどんどん進む中で、丸亀市がどういった位置にあるかということ香川大学の教授が調査しており、その講演を行っていただいた。その話では、丸亀の人口動態、経済状態は全国的にみてもまれにみる良い状況であるということだ。丸亀市の人口は減っていて、現在 10 万 7800 人と微減である。県内では、高松・丸亀・宇多津が微減という状況だが、中四国の中でも丸亀は人口減少が少なく頑張っている地域であるという事だ。

市の財政事情もいい感じできているということだが、大変厳しい状況にあるというのが実状である。

人口減少している中で、少しでも交流人口を増やしたいということで市長に就任して以来取り組んでいる。ざっくりした数であるが、出生数が年間 700 数十人、その年によりますが、死亡数が 1200 から 1600 人であるから、500 人～800 人くらいの自然減をしている。しかしながら、人口微減となっているのは、それだけ入ってきている人、移住してきている人が多いという状態。ちなみに、外国人が増えてきており、特に城乾地区は外国人の方が多いと思っている。外国人住民は 3 千人を超えており、毎年数百人ずつ増えてきている。

これは、丸亀市のいろいろな産業の働き手として来ているのが現状である。

その中で、この春にうれしかったことが、塩飽諸島の広島において16年ぶりに小学校・中学校が再開した。2家族が島へ移住し小学生3人、中学生1人。さらに夏休みに1家族移住し、中学生が2人になった。確定的ではないが、来春には子どものいる移住者があるように聞いている。これは広島だけの話であるが、市全体としても仕事の関係が中心で移住者が多いのが特徴で、中四国の中で有数だろうと、先ほどの教授からも言っていた。その広島の小中学校の開校は本当にうれしい出来事。子ども4人に対して11人の教員を配置し、校舎を数億円かけ改修した。

4月27日にはブルーインパルス飛行があった。市制施行20周年記念、お城まつりのお城村50周年として要望を自衛隊に出していたが、善通寺駐屯地の75周年記念や高松市の瀬戸内国際芸術祭2025といった他のイベントでの要望が偶然重なり、この3つを合わせて要望した結果、自衛隊が要望した日程となった。当日は、西からきて一番に丸亀上空へ入って、お城の南側を高松に向かって6機が飛んで行った。その後、高松まで飛んで、屋島の手前で旋回して、新しくできた体育館、瀬戸大橋の上、塩飽諸島も飛行して善通寺上空で展示飛行の予定でした。その時にちょうど、ドクターヘリがおとなこども病院に来ることになり、待機することになり展示飛行が中止となった。私も駐屯地の式典に参列していたため、ブルーインパルスを見ることはできなかったけど来てはくれた。

7月20日には、参議院議員選挙と同日だったが、プロ野球のフレッシュオールスターが行われ、野球愛好者を中心に8,800~8,900人が来場した。私も1年前からプロ野球機構へ営業に行き、丸亀を選んでいただけた。球場ができて10年になるが、丸亀の町からプロ野球選手を出そうということで、「start for MAJOR」をコンセプトに掲げてきて、8名のプロ野球選手を輩出できた。残念だったのは、丸亀市民球場で高校野球、中学野球をしてきた選手8名が出場できなかったこと。8人のうち丸亀市出身の選手は二人。一人は郡家小学校、南中学校、丸亀城西高校からJR四国、JR四国から日本ハムファイターズにドラフト3位で入団した水野選手、それと西武ライオンズに入った古市選手。岡田小学校、綾歌中学、高松南高校から西武ライオンズということだが、一軍でレギュラーにまではなっていないが、キャッチャーとして出場している。その他、高松商業の浅野選手とかもいるが、一軍で活躍しているので出られない。二軍のメンバーもケガで大事を取って出場がかなわなかったのは残念だった。

そして、今度11月21、22日の二日間、丸亀うどん祭り2025を大々的に行う。丸亀市と、トリドールホールディングス、丸亀製麺の3者で主催する。これは、3年前から企画を練り、地元のうどん屋も協力、参加し、さらに全国のうどん有名店が集まりコンテストを行う。CMに出演している上戸彩さん、高瀬出身の要潤さん、丸亀からは中野美奈子さん、他にも芸能人が何人か来るように聞いている。大々的に全国に発信するような祭りを実施するので、楽しみにしてほしい。

来年は、連合自治会の全国大会も丸亀で行う。その他にも小さなイベントを多く開催するが、大きなイベントを職員も頑張っていこうという取り組みを継続して行っている。それもあって丸亀市は、いい方向に行っていると私は思っているが、人口が減少すると働き手が少な

くなる。市役所も以前は10数倍の競争率の受験者数だったが、近年は、受験する人も少なくなってきた。例えば、保育士、土木技師、建築技師、デジタルに精通した人材を募集しているが、思うように採用できていない。その中でも頑張っている。私の話が長くなったが、皆さんからのご意見をしっかり聞くので、遠慮なく話してほしい。

2. 意見交換

(所長)

それでは、さっそく要望に入っていきます。まずは、会長から

(会長)

福島駐車場が耐震基準に達しておらず、その周辺の再開発という話を聞いているが、駅の北側に駐車スペースが欲しいし、災害時、特に津波や高潮の時には避難タワーとしての機能があると心強い。ぜひ、避難タワー付の駐車場として再整備していただきたい。また、福島みなと公園は、いまも保育所、幼稚園の運動会や城乾コミュニティも秋のイベント「月の宴」に使わせてもらうなど重宝していますので、避難広場としての機能を持たせて残してほしい。そのあたりいかがか。

(市長)

まず、市営福島駐車場については、皆さんご存じの通り老朽化し、耐震性能に課題がある。その駐車場を今、会長からの要望の通り、避難タワー付の駐車場として再整備してほしいということだが、その方向で検討したい。その検討にあたっては、緊急時に垂直避難ができるような、避難タワー機能を持たせる方向で検討するように私から担当課に話している。実際にそのような形になるとのお約束はまだできないが。

そこで、丸亀の中心市街地活性化について話したい。中心市街地からつながる駅から北側の福島駐車場、みなと公園であり関係がありますので。

お城の北側の4街区では、シアターマド（新市民会館）があと1年で完成する。来年9月6日がオープン予定で、ものすごく良い建物ができる。これは、私が市長になってすぐ計画を変更した。当初は、お城の真ん前に900~1,000人の小さな劇場だけを建てて、生涯学習機能はあいている施設でバラバラに行うものという構想であったものを、生涯学習機能は絶対に必要なものであるとの思いから、1,300人の大ホール、350人の小ホールも必要ということで、場所も変えて生涯学習センターとの合築とした。場所を変えたことで、完成が1年遅れとなったが、私はこれで正解だと思っているし、ここが、文化芸術、生涯学習の拠点となる。生きがいを持って生き生きと過ごすためには、文化芸術と、幼児からシニアまで全員が学習することがこれからの時代にもっと必要となるという思いから進めた。ただ、建設費が物価高騰の影響もあり、どんどんあがってしまっている。いま、庁舎があり、マルタスができたが、マルタスには想定以上の年間80万人を超える人が来ており、これは大成功している。そこにシアターマドが出来上がったら、児童館も併設しているので、朝9時から夜10時まで出入り自由で、子どもたちも過ごせる施設となる。このシアターマドの特徴は、南に向かって大きな窓が1階~4階まであり、そこで市民が休憩もできて、お城を見ながらゆっくり話もできるスペースとなる。楽しみにしてほしい。一つ贅沢な話を、シアターマドに新しいピアノを購入するが、3台で1億5千万円くらい。

私からするとゼロが一つ多いが、アメリカのスタインウェイ製のピアノが5～6千万円。職員から「市長、音が違う。このピアノだけは絶対には買わなければ」と言われ、買うことにした。ピアノの話は一例だが、職員もそういったものも揃えて本物の施設を作ろうとしている。そんな、市民会館ができる。その市民会館の南側は、今仮の駐車場にしているところは公園に戻し、生涯学習センターの跡地に南北に細長い立体駐車場を作る。本当は、平面で落ち着いた緑の駐車場を作りたかったが、それでは640台の台数が確保できない。大手門の前には大手門広場という、江戸時代には登城してきた武士が、馬や籠を置いていく場所があり、それを再現するように四角い形の広場を作りたい。そのほか、芝生広場を中心として、公園として人が多く来られるような拠点施設を作る。

以前はレオマから連日大型バスで訪れていたのが、10年ほど前から来なくなった。その理由をアンケートすると、丸亀城は素晴らしいが、休憩する、土産を買う、軽食を取るといった場所がないという事だった。この観光客からの不満を解消するために拠点施設を作る。小さい建物でも、全部の要望を満たすようなものにする。こういったことを国からの交付金を活用して進めようとしている。その公園ができれば、次は通町、富屋町から港までの歩いて楽しい街づくり「ウォークアブルなまちづくり」を目指して、どういう街を作るかという事になっているが、その辺が決まっておらず、検討中である。実は、夏前に国土交通省から3名視察に来てくれた。その交付金の対象に福島駐車場とみなと公園もその一画に含まれておることから、今後も検討していく。私も小学校4年生の2学期までは城乾小学校におりまして、その後川西に移りました。昔のお城周辺は土曜デーなどすごいまちだった。もう一回そうした活気あるまちにしたいと思って取り組んでいる。駐車場が無ければ、人が来られないのでコンパクトシティを作るにも駐車場は確保しなければならない。

(所長)

ありがとうございます。

今の話について関連の質問と要望などがあれば、マイクを持っていきます。

(男性)

市民広場はなくなるのか。今のドイツの夕べのような屋外イベントができるような広々とした公園は欲しい。

(市長)

拠点施設ができるからといって全部の広場部分をなくすわけではない。拠点施設は、休憩、食事、お土産の拠点を職員が大きく作ろうとしているが、建物は小さければ小さい方がいいと言っている。

(男性)

屋内イベントは市民会館で行えばいい。

(市長)

たくさん来た人たちは市民会館で休憩すればいい。

(男性)

夏はステージを組める場所が1か所は欲しい。みなと公園も。

(市長)

何とか人が来てくれるように、いいものにしたい。

国からのコンパクトシティ交付金というのがあり、国土交通省からの視察の際にも「良い街」と言ってもらえた。やりようによってはものすごく良いといってもらえて、それなら交付金をお願いすると話した。

前知事、現知事にも言っているが、高松と丸亀、観音寺と3つの文化圏があるので、高松以外にも投資をするよう要望している。それを国にも要望して、良い街に仕上がったら、私は塩飽諸島の瀬戸内の多島美を全世界に発信したいと考えている。10年後には世界の方々が丸亀の島にも泊まりに来る。ちなみに今もガンツウという周遊船が本島や広島に来ている。あとは、受け入れができる宿泊施設、食事場所があればもっと来てくれると思う。特に広島にある二つの山、王頭山と心経山は木が生えておらず、その上から360度見渡せる絶景は世界ナンバーワンの景色だと思っており、ここに人が来てくれている。だから公衆トイレを作らなければならないということで、実際に去年トイレをつくったところだ。丸亀は人口減少しており、どれだけ支援して費用をかけても人口は減る。減ったらどんな街を作ればいいのかという事に予算をつぎ込んでいる。一番は、交流人口を増やすこと。交流人口があれば、訪れた人がお金を使うし、まちに注目が集まり転入者が増える。中讃地区は丸亀がどれだけ頑張れるかにかかっている。また、善通寺坂出にも、まちを良くするようともに頑張ろうと申し入れをしている。

そのような中で福島駐車場、みなと公園は大きなポイントだと思っている。

今、プロに呼びかけ、職員でもチームを作って中心市街地をどんなまちにするか検討している。お城の北側はだいたい決まったので、あとは駅の北側をどうするかだ。どんなものが良いか、遠慮なく言ってもらいたい。

(男性)

みなと公園までの話はいいと思うが、みなと公園から海を見ると、水辺のごみの山、船の整備の仕方を考えなければ観光地としては成り立たない。遠目で見ればきれいだが。

(市長)

ウォーターフロントをさっぱりしろと

(男性)

フェリー乗り場の横の西汐入川から流れてくるゴミが、梅雨ごろになったら常にゴミがある。

市長と語る会で何回か話して。県職員にも来てもらって、ボートを係留している人と一緒に話したが、一向にきれいにならない。海ゴミをなくそうと砂浜や島で海岸清掃を行っているが、港のところは拾えない。拾っているのはボートを置いている人だけだ。雨が降った日に水門まで見に行くと、潮が引くとオイルフェンスが堤防の下になり、オイルフェンスの上にたまったゴミは潮が満ちると海に流れていく。これも4、5回話したが、一向に良くならない。プレジャーボートと漁船、石垣が壊れかけているところなどを整備しなければ、見るにたえない。

(市長)

私も同じように思っているが、護岸はほとんどが県のものなので。

(男性)

それはわかっている、県は管理で、所有は国。それと、太助灯籠もどこも草抜きをして

いない。みなと公園は市のものであるが、太助灯籠はどこのものか分からず、自治会でも草抜きをせず荒れ放題。

(市長)

私も太助灯籠のところで30分のYouTube番組の撮影をしたので、太助灯籠について勉強した。江戸時代に塩原太助という人物が80両出して、それでも足りないのでその部分をみんなで費用を出し合って作ったそう。

(男性)

みんなは、地元ではなく、東京、江戸の人達。

(市長)

金毘羅船船追い手に帆かけてシュラシュシュ、ここが丸亀か、というので灯籠に火をともし、港めがけて船が入ってきたという。

(男性)

太助灯籠は時々観光客が来ているが、「ここが金毘羅参りのスタート地点ですよ」と説明しても、ここが？と言われて、指さされた先はごみの海。漁船とプレジャーボートが入り乱れ観光地としてはなっていない。

(市長)

丸亀の陸地側から海が綺麗に見えるところが正直いってない。

(男性)

川からくる水門のごみは誰が拾うんだ？と松永市長の前にも要望したが、「どこに金があるんだ」みたいに言われてしまった。費用を掛けて水門で回収するなどしなければ海はきれいにならない。

(市長)

上流でごみを捨てないようにするというのもある。

(男性)

草刈りのごみを捨てずに、堤防に置いているので、満ち潮で川の水が増えると海に流れてくる。それを見ると、池の水草や草蒞した草と半分死にかけたカメで、アカミミガメが流れてくるという事は、上流から来ているという事。よろしく願います。

(市長)

昔と全然変わらず汚い。船の置き方も考えて整理が必要だと思う。

(所長)

続いて、お願いします。

(副会長)

城乾校区の話をしたい。城乾小学校は生徒数が年々減少し、最近では1学年が20名くらいしかいない状態。いま市長から人口減少について、それに取り組むような施策をしていると話があった。ただ、城乾校区は通町を含んでいて、そこが人口減少のもととなっている。昼間は店にでて、夜は別の地区にある自宅に帰っており、実際に住む人が減っている。我々の校区は西側の西本町から幸町あたりで、1学年でだいたい20人ぐらいの生徒数しかいない。やはり校区を少し見直してもらって生徒数を増やしていく施策を行ってもらわないと、城乾小学校そのものの存続が難しくなると危惧している。

(市長)

私の主観として、同じことを職員にも話していることを聞いてもらいたい。

私は、もともと川西町の農家の息子であるが、父親の仕事の都合で1歳過ぎから10歳まで幸町の市営住宅に住み、小学校4年生、10歳までは城乾小学校に通っていた。そのころ城乾小学校は780名ほどいたのを覚えていて、丸亀で一番の小学校だった。それが今調べたところ、生徒数が131名。

(男性)

138名になっている。

(秘書課 鳥井)

集計時点が違っていると思われる。

(市長)

10年前の平成27年が260名で、この十年で50%減少している。

ただ、お礼を申し上げたいのは、城乾小学校、東中学校の先生方を中心に外国人の子ども日本語教育を放課後に熱心に取り組んでくれており、先生方に頭が下がる思いだ。私が市長になってからの4年間、高校進学率、合格率が100%であるということで教育長も非常に喜んでいる。外国人といえども、日本でずっと住むのであれば高校を出ていた方が就職などにも良い。それも城乾小学校で日本語を丁寧に教えてくれたことから始まっている。外国人労働力は市内の企業にとっても必要なものであるので、本当に感謝している。

小学校の話に戻ると、城乾小学校が10年で半減、公立小中学校全体で、合わせて1,000名くらい減っているのが現状。義務教育の生徒数の減少は一番の問題と教育委員会でもとらえており、適正配置検討委員会を今年度設置し、大学教授など専門家に学校の適正規模と適正配置について審議・協議をしてもらい、来年3月に答申をいただくことにしている。全国的にも、丸亀周辺でも幼稚園、小・中学校、高等学校の統合が進んでいる中で、丸亀はまだ統合せずとも成り立っているが、3月の答申をいただいて、教育委員会が中心となって考えることになる。以前は教育に関して市長が口をだすことができなかったが、数年前から総合教育会議という場で、市長も意見が出せるようになった。

5カ年の「人づくり石垣プロジェクト」は、コロナ禍を経て不登校の子ども数が倍増している。この状況を打開するために、丸亀市の市費で講師、補助員、支援員、スクールソーシャルワーカー、ALTを全部で50数名雇用した。これは、正規の先生の負担を減らし子どもと向き合う時間をしっかり作っていきこうと始めた。最初、教育長から「人が集まらないので、始められない」と聞いていたが、教育長から直接一人ひとりに丸亀の現状を説明して回って集めた。丸亀市費の報酬は、香川県採用の講師に比べると報酬が6割ほどで少ないことや、60歳で退職した教員がもうやらないということが、集まらない原因だった。それで、これは金の問題じゃない、丸亀の子どもたちの現状をピンポイントで伝えてひとりずつ説得するように僕の方から教育長に頼んだところ、教育委員会の先生方が頑張ってくれた。教育委員会が良い方向性を出してくれたことや、3月の答申など、会長からの意見も参考に、市としても口を出しながら考えていきたい。ちょっと答弁になっていないけれど。

(副会長)

もう 1 点。通町の町の中に本屋が全然ない。宮脇書店が撤退し、丸亀高校、大手前、藤井学園などがあって丸亀は学園都市でありながら、本屋がないことはなんとかしてあげないと子どもたちも不便だと思う。小さくてもいいので文化の源である本屋をなんとかしてもらいたい。

(市長)

誘致しないといけないと思う。ただ、本を買いに行く人がないことには、書店が来ない。私はよく宮脇書店へ買いに行っていたが、人が入らずやめてしまわれた。

(男性)

最近の子どもは本を読まないのかね。

(市長)

また良い案があれば教えていただきたい。

商店街の話で言えば、2年半前に駅前に東横イン 265 室、通町にスーパーホテル 95 室と両方で 370 室のホテルが、コロナ禍にほぼ同時にできた。すでに、丸亀にはグランドホテル、ホテルアルファワン、ルートイン、オークラホテルなどもあり、難しいだろうと心配していたが、平均 9 割近くの宿泊客があるらしく、丸亀で大きなイベントがあるとホテルが不足することが問題になったこともある。ハーフマラソン、ニッカリ青江展などいいイベントがあったらホテルが足りないくらい常時ホテルが稼働している。ただそこで、夜ご飯を食べるところがないとクレームが入る。いま、通町の飲食店はたいていいっぱいになっているので、通町でリーズナブルな値段の美味しい居酒屋があれば流行ると思う。

宿泊客は、一部観光客もあるが、宿泊客のほとんどはビジネス客で、今治造船、大倉工業、四国化成といった大手やその他にも多くの企業があるので、そうした仕事関連の宿泊がある。

(男性)

期待しているので、よろしく。

(市長)

やはり、丸亀の中心市街地活性化の成否に中讃地区の将来もかかっていると思うので、交流人口の増に向けても必死にやらせていただいている。

(男性)

関連でなにかあるか

(男性 2)

主任児童委員をやらせていただいている。校区の問題は 3 月の答申を受けて考えていく(※3月の答申は適正規模・適正配置に関するもの)とのことであるから、今要望しても仕方がないと思うことだが。城乾小学校は東学校群であるが、卒業したら半分ぐらいが西中学校に進学してしまう。それで、学校区の区割りを見ると、もともと西中学校区の子が、城乾小学校に来ている形になっている。東学校群と言うのであれば「東中校区」にして、城乾小学校に通って、そのまま東中学校に進学するようにした方が、西中学校の人数を抑える意味でもいいと思うが。それなら今年中に準備して来年度にも実行可能だと思うが、いかがか。

(市長)

ご指摘は議事録に残して、私からも教育委員会に伝える。なるほどと思った。

私も城乾小学校に通い、当時はみんな東中へ進学したが今は西中へ多く進学されるのか。

(男性2)

年によって異なるが、西中へ進学する方が多い年もある。

理由は色々あると思うが、校区的に、津森町などは西中校区と書いてあるが、小学校は城乾。ただし、これは番地によって異なり、その地図を見せてと言っても教育委員会は見せてくれない。そこで、町名と番地を伝えたらどこの校区かは教えてくれるので、その方法ですっと番地を言って調べることで、一応区割りの地図ができた。

(市長)

市長である私でも個人情報の関係で見せてくれない。私は南中学校区の川西町に住んでおり、城南小学校は全員南中へ進学することになっているが、私の子どもが通っている頃に南中が1,000人近くになりパンク状態だったため、自由校区にして南中学以外にも通えるようになった。そのあと、西中の建て替えたことで、城南校区の人でも西中へ進学するようになった。

(男性2)

東中学校区にいても城乾小学校に来たら西中に行かないといけなくなってしまうので、それを東中にも行けるよとすると東中に行く子もいるかもしれない。いま西中が8クラスあって、特別教室をつぶしてやりくりしていると聞いているが、東中は6クラスあったのが5クラスに減っているから、その人数を東中にまわせれば、教室不足の問題がなくなるのではないかと思う。

(市長)

西中の生徒が増えすぎて、校舎を増築しなければならないところ、今は特別教室を普通教室に代えてしのいでいる。平成27年から比べると、東中の生徒数が約100名減、西中の生徒数は25人程度増えただけだが、教室が足りない、南中は130名ほど減っているという現状だ。その中でももう少しバランスをうまくできれば良いのだが。

今のご意見は私からも直接教育委員会へ申し入れます。そこまでしか言えないが。

(男性)

他に、今の関連で。

(副会長)

少し前に、高松市の市道の街路樹の再整備、落ち葉の問題、街路樹の根が張って道路があがってくる状態を見直すという報道を見ました。

丸亀市の市道も、この城乾地区でも西本町、本町について前回要望したが市道の状態を担当部署が把握していると思うが、高齢化でお年寄りが歩くのが危ない状態で、いつ転んでけがをしてもおかしくないので整備が必要だと思う。住みよいまちづくりというのであれば、そういうところから見直していただきたい、答えられる範囲で構わないので市長の考えを聞きたい。

(市長)

昨年うかがった件については、ひととおり指示は行っている。

ただ、今日うかがった根上がりの状況については確認をとりたい。また、私としては、

危ない木は撤去したらいいと思う。お城の南側も石垣に悪影響のものは、議会にはお叱りをうけるが、石垣が崩れたら元も子もないので、石垣に悪さをするのであれば切るしかないと思っている。また、今度できる新しい市民会館の南面の窓からは、東にある木の陰でお城が見えない。他のところに木を植えるので、代わりに樹高を低くするために一部を切りたいのだが、木はさわるべきではないと反対されている。市二酸化炭素問題やカーボンニュートラルの面から見てもトータルで緑は大切で、全体的には増えるのだが、市民にとって危険なところは切りたいという風に個人的には考えている。

(男性)

街路樹が家の前にある人は落ち葉の季節には毎日掃除している。ご高齢なので大変。

さらに根が地表に上がってきて、道路が盛り上がってきている。

(市長)

落ち葉も大変だが、雑草も大変で正直市では手が回っておらず、やはり年1回か2回しかできない。私の自宅がある県道善通寺府中線沿いでは、舗装していても草がどんどん生えてくるので、家の周辺はその家がするようになっていて、自分の家の近くに草が生えていると、「おい生えてるぞ」と近所の人に言われるのでやっている。

お手数をかけるが、住民のみなさんがしてくれるとさっぱりする。現実問題、市が全部に予算をかけて常にきれいにすることは正直不可能だ。

(所長)

もう時間が少なくなってきたが、他に要望はありませんか。

(男性2)

来年4月から自転車の取り締まりが厳しくなる。城西校区の中府あたりまでは緑の線が引いてあるが、途切れて城乾校区に入ると無い。そのまま引いてくれば、ユリーカに通学する生徒たちが多く、ちゃんと左側を自転車で通行してくれると思うのだが、城乾小学校の北西の大庭産業のあるところの交差点で、車が左にびったり寄せるので、自転車は右に膨らんで右側を走り、次の信号の無い交差点で車が左から来るのが見えにくく、右から渡る方が安全なので右側を渡るっていう生徒が結構いる。そのまま海の方へ行くとそこも信号の無い交差点で、右側通行すると「左を走るように」と警官に怒られるっていうパターンになる。なので、緑の線を引くことで車も気を付けることができ、交通安全につながると思う。

例えば、城乾小学校の横もずっと自転車通行可の道だが、村上学園の方に抜けて歩道を走っていくと、歩道をブロックされて直接歩道に入らず、車道に出てしまう。これも危ないと思っているが、どこへ相談すればいいのか。市に申し入れるのか。

正しい通路を生徒たちに教えないと、危ないまま走行している。そこをどうやって通るのかという正しいルールを教えないと、生徒たちは危ないところをずっと走っており、ルール守れと言われてもきちんとしたルールを教えないとできないと思うのでそれを何とか啓発して生徒たちに流すなどできませんか。

(市長)

市道は市、県道は県の管理で、緑の帯は警察か？

(秘書課 鳥井)

本日は担当が同席しておらず、はっきり分からないため、後日の回答としたい。

(市長)

その緑の線があるだけで、意識が違ってくるという事。

(男性)

歩道があって、道幅が何メートル以上とかの規定があって、このために途中で切れていると思われる。前に幸町で同じようなことを要望したら道幅が足りないのだと言われた。

(市長)

その辺のところ、また調べる。場所はわかるか。

(秘書課 鳥井)

おっしゃられる場所が分からないが、今の質問は、相談先がどこかという事。要望の緑の線については、道路の幅などいろいろな規制があり、その状況もあって一概に回答することはできないと思う。まずは、相談先がどこになるのか調べる。

(市長)

県や国のことであれば、丸亀市の担当課へ行ったらそこから国や県に要望することもあ
る。

(所長)

時間が大分過ぎたので、最後に1～2問。なければ終わりにする。

最後に連合自治会長の小幡より。

(連合自治会長)

長時間にわたり、大変有意義な時間とすることができた。

城乾地区は人口減少、高齢化に直面している。街の活性化は人口増が大変重要であり、ほかの地区でも一緒である。自治会の担い手不足も問題で、高齢化で自治会長が変わるに
変われない状態で、後継者がなかなかいない。私ども城乾地区は21自治会あるが、病気を
持ちながらも自治会長を続けておられる人がいるのが現状。ほかの地区でも話を聞いてお
り、自分たちだけではないという思いである。人口減少は地区で考えるというのはなかなか
難しい問題である。なんだかんだと問題が山積していることについて、市長には理解し
ていただきたい。今日は、松永市長、秘書課の鳥井さん、地域担当の長楽さん、伊藤さん、
長い時間ありがとうございます。また、参加者の皆さん長時間ありがとうございました。